

仕様書「特別緑地保全地区フェンス修繕（その２）」

京都市都市計画局風致保全課

（担当：浅倉、水無瀬 075-222-3476）

1 工事名

特別緑地保全地区フェンス修繕（その２）

2 工事の目的

本市が所管する洛西中央特別緑地保全地区を囲むフェンスについて、景観及び環境の適切な保全と安全の確保のため、取替え等の修繕工事を行うものである。

3 工事期間

契約締結の日から令和８年１１月３０日まで

4 工事場所

西京区大原野東境谷町 地内

5 工事範囲

別紙「箇所図」「参考図」及び「現地写真」参照

6 工事内容

- ・工事範囲のネットフェンス（延長 L=約 9m）、門扉（延長 L=約 2m（1 箇所））について、取替えを行う。（延長については多少の誤差があるため、事前に必ず計測すること。）
- ・フェンスの規格は「V ネットフェンス VAB-2 型 H1500 外忍び付」同等品以上とし、色はダークブラウンとする。外忍びは安全のため、有刺鉄線でなくワイヤー「E-GS2 被覆線径 4 mm ダークブラウン色」同等品以上を別途設置すること。
- ・フェンス基礎設置位置は、フェンスの忍び返しが道路区域に越境しないよう内側に控えて設置することとする。（参考図参照）
- ・門扉の規格は「V ネットフェンス門扉 VH-G 型 H1500 両開」同等品以上とし、色はダークブラウンとする。
- ・門扉の基礎は、既存の基礎を撤去し、新たに基礎ブロックを設置するものとする。
- ・門扉内の乗入スペースについて、軽トラックが半分入る程度（約 1.7m）の範囲の堆積土砂を掘削し、平坦な乗入スペース（1.7m×2.0m 程度）を確保すること、また掘削した際、背面の土砂は安定勾配（45 度程度）に仕上げ、掘削範囲に影響する竹は伐竹（除根含む）すること。（想定土量 V=5m³）
- ・フェンス及び門扉の基礎を設置する際、土砂が足りない場合は原則、現地発生土を流用すること。
- ・新設するフェンスは既存フェンスの支柱等に隙間なく接続すること。なお、や

むを得ず隙間ができる場合は10cm未満とすること。

- ・本業務に伴い撤去した竹穂垣と伐竹（残置竹含む）した竹は分別のうえ、「洛西中央緑地管理組合」の指定する場所（洛西中央緑地内）に運搬（最大1km程度）すること。
- ・洛西中央特別緑地保全地区内の竹林は、市有地だけでなくタケノコ栽培等を行っている民有地も含まれるため、地元農家で構成される「洛西中央緑地管理組合」に管理委託を行っている。施工については、「洛西中央緑地管理組合」と必ず立会いのうえで行うこと。
- ・掘削する際は、竹の根を傷めないように細心の注意を払うものとし、根の切除が必要な場合は、「洛西中央緑地管理組合」に必ず許可を受けたうえで、最小限の範囲で切断し、断面に適切な処理を行うものとする。
- ・作業範囲付近に地元の農機具小屋があるため、破損しないよう注意して施工すること。
- ・作業箇所は道路に隣接していることから、作業期間中は、施工範囲をカラーコーン・バー等の安全施設で囲うとともに、必要に応じて警備業法に基づく認定を受けた警備業者の交通誘導警備員を配置すること。
- ・本工事は道路上において作業を行う必要があるため、受注者は事前に所轄警察署の道路使用許可を受けたうえで、歩行者等の安全確保に十分配慮して作業を行うこと。また、土砂等により路面が汚れた場合は、清掃等を行い、きれいな状態に戻しておくこと。

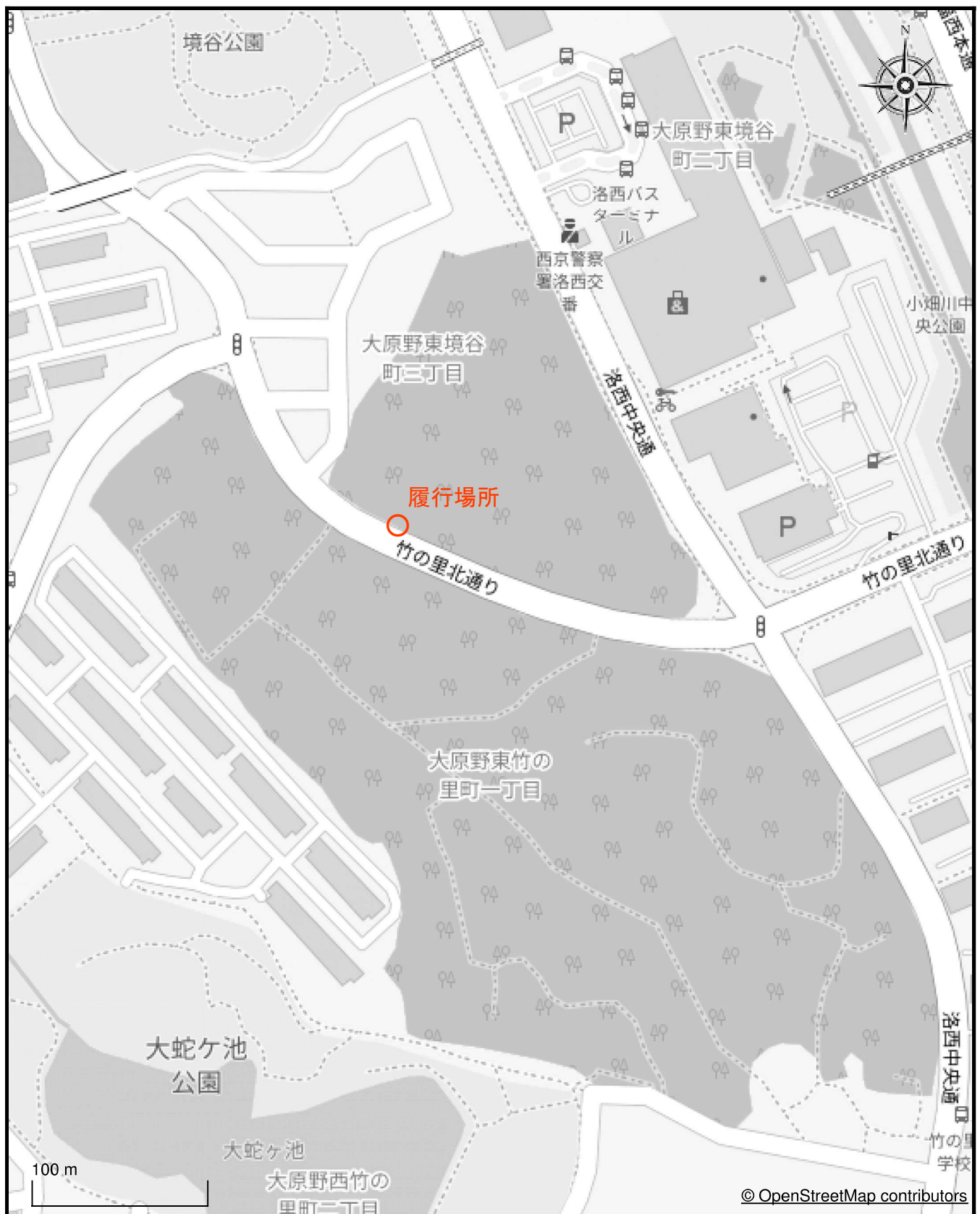
7 支払条件

- ・受注者は工事完了後、完了届を発注者に提出すること。完了届には作業前・作業中・作業後の写真及び、交通誘導警備員の日報を添付するものとする。
- ・完了届が提出され、適切に工事が履行されたことが確認されたのち、本工事に係る経費を支払う。

8 特記事項

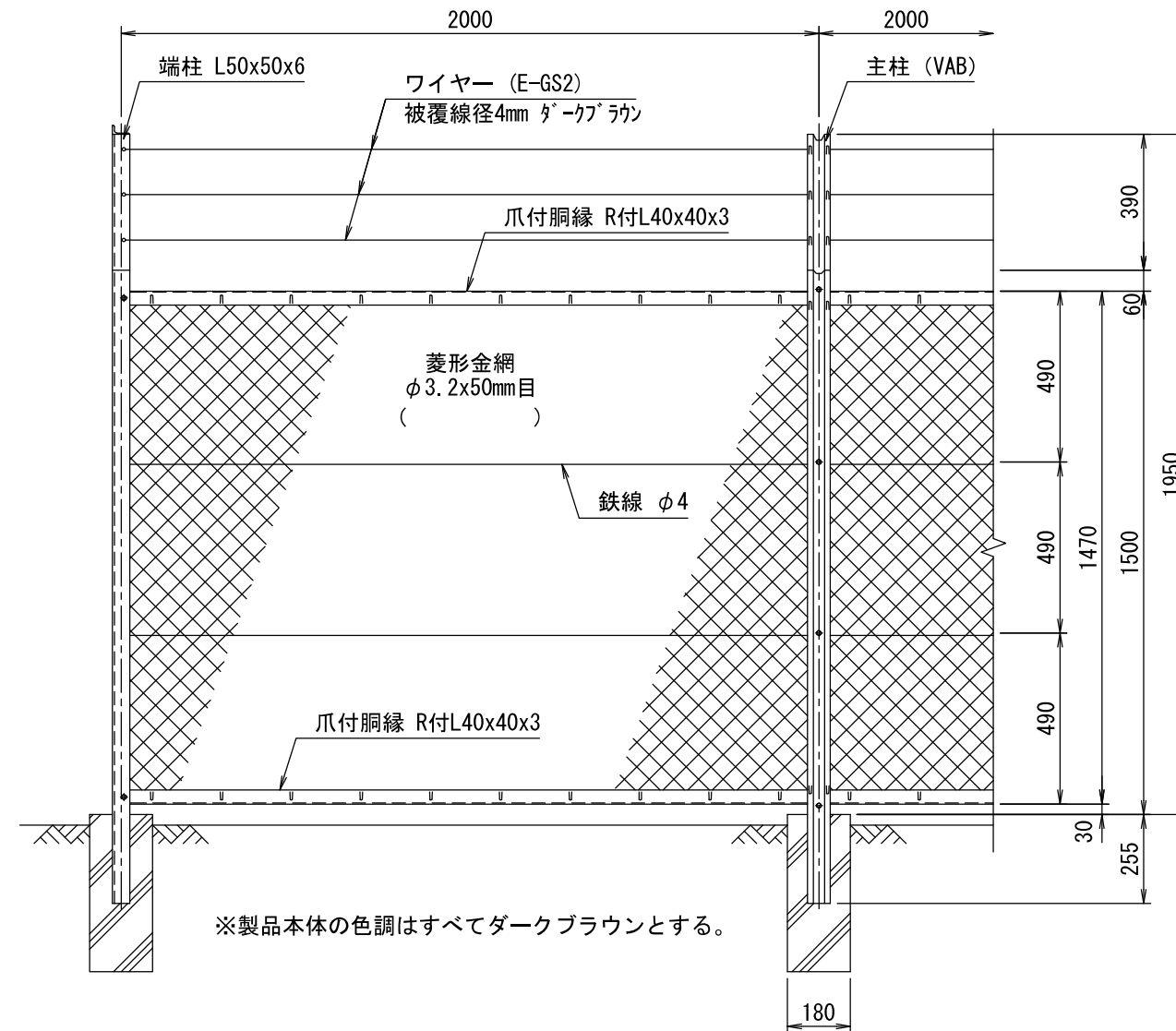
- ・本工事に必要な材料費、労務費、車両運転費、仮設資材、機械工具類の賃料・損料、消耗品費及び諸経費等の全ての費用は、本工事に含む。
- ・撤去したフェンス等は受注者の責任で適切に処分するものとし、運搬費及び処分費は、本工事に含む。
- ・作業中の事故等、問題が生じた場合は、速やかに発注者に連絡すること。また、事故等により、第三者や他の工作物に与えた損害については、受注者の責任において対応すること。
- ・作業日程等については、「洛西中央緑地管理組合」との立会い調整のため、作業実施の2週間前までに本市担当職員に連絡すること。
- ・作業時間は原則として平日の午前9時から午後5時の間とする。
- ・本工事は、公共性が高いものであり、市民への対応（言葉遣い等）に配慮すること。
- ・作業実施者にかかる安全管理については、受注者の責任において行うこと。

箇所図

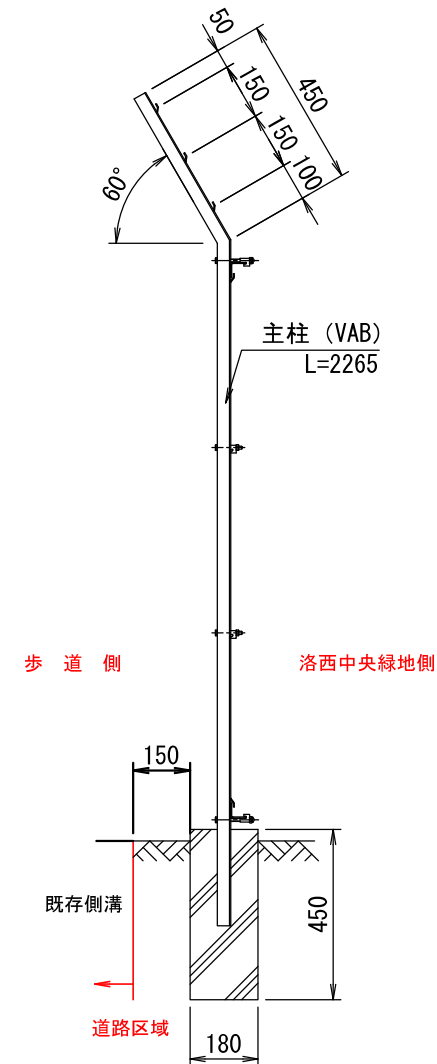


参 考 図

(A3:1/20)

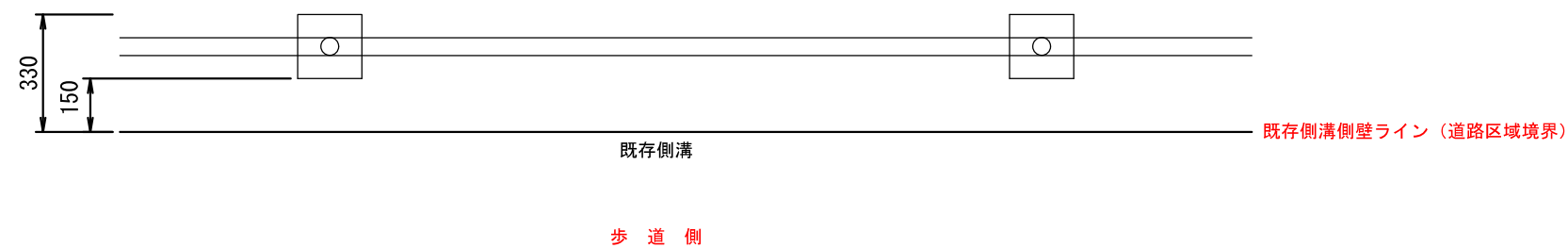


正 面 図



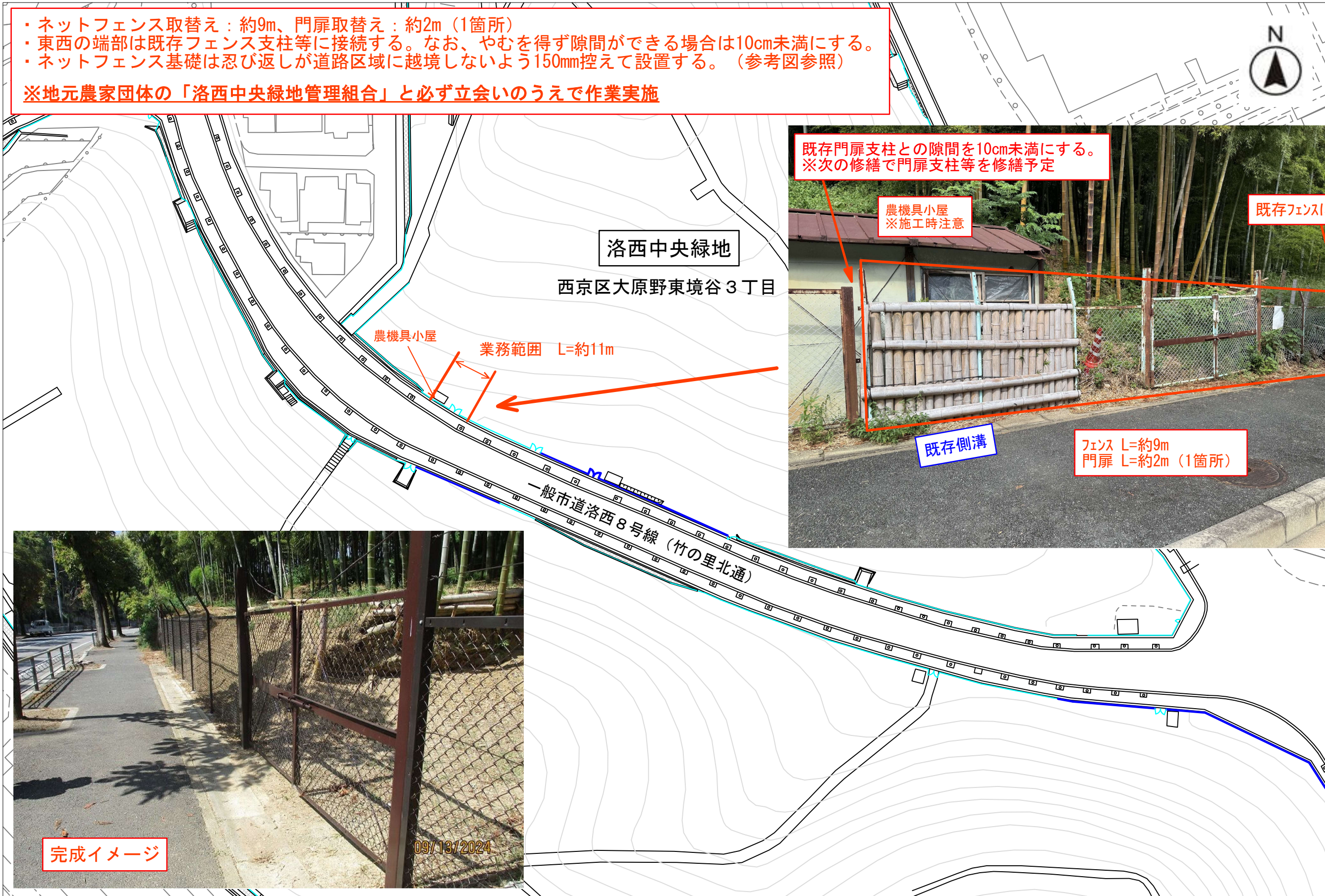
側 面 図

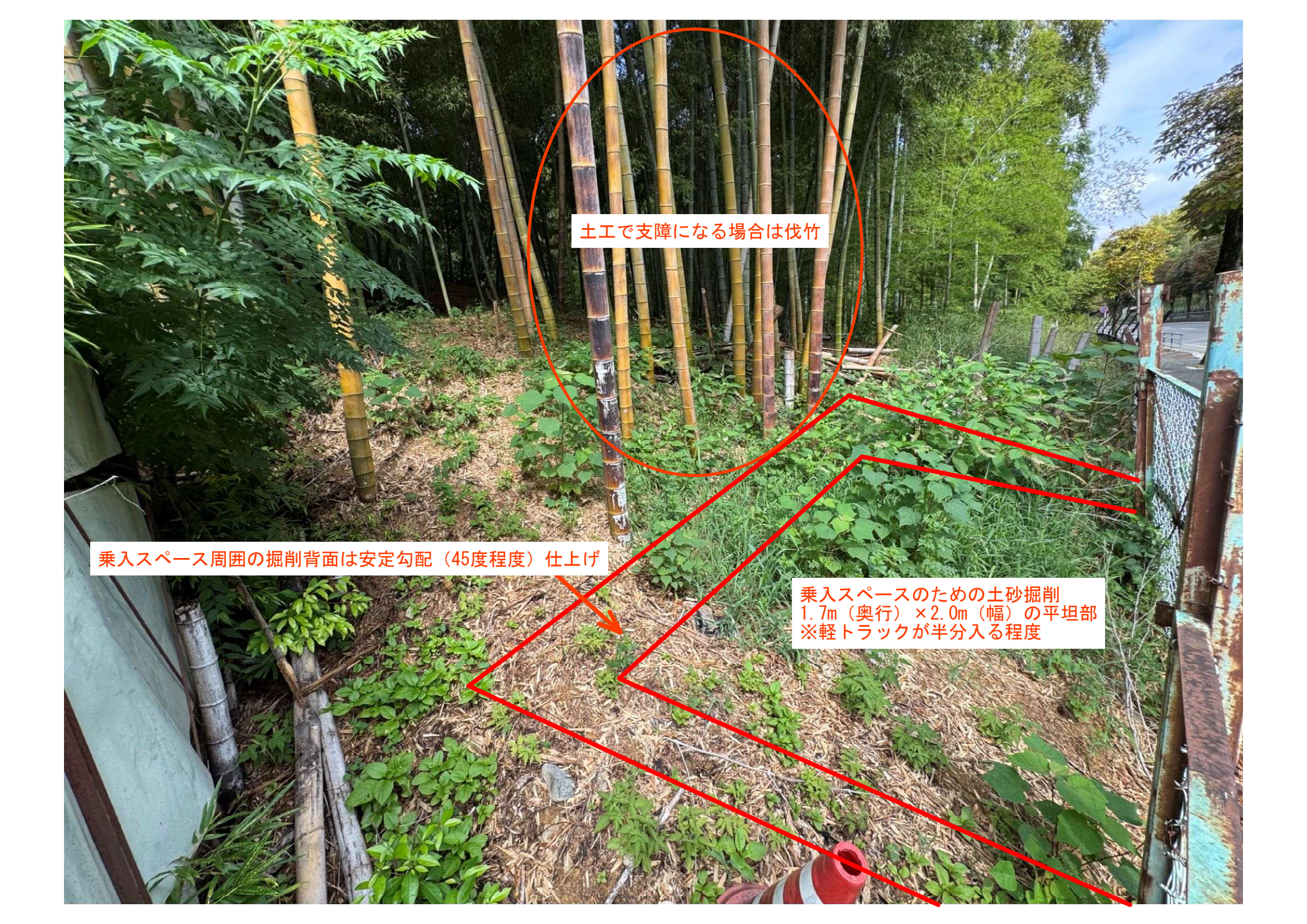
※忍び返しが道路区域を越境しないように施工する。



正 面 図

現 地 写 真





土工で支障になる場合は伐竹

乗入スペース周囲の掘削背面は安定勾配（45度程度）仕上げ

乗入スペースのための土砂掘削
1.7m（奥行）×2.0m（幅）の平坦部
※軽トラックが半分入る程度